

国の「緊急事態宣言」の発令を受けての龍ヶ崎市長コメント

令和2年4月7日、政府から、7都府県に対し「緊急事態宣言」が発令されました。茨城県は対象ではありませんが、龍ヶ崎市は東京都や千葉県と距離が近く、緊急事態宣言に準ずる地域と考えられます。

国の発表を受けて、市民の皆さんに市長からコメントを発表しましたのでお知らせします。

【中山一生市長コメント】

市民の皆様、龍ヶ崎市長の中山です。

本日4月7日、安倍首相が7都府県に対し、緊急事態宣言を発令しました。

茨城県は対象ではありませんが、龍ヶ崎市は、緊急事態宣言を出された東京都の八王子市と、都心までほぼ同距離にあり、千葉県とも密接しています。首都圏通勤者の多い私たちの地域は、緊急事態宣言に準ずる地域だと考えなければなりません。

県内でも、都市部など県外からの感染者が増加しています。龍ヶ崎市でも、4月3日に都内勤務の60歳代の男性の感染が確認されたことを、深刻に受け止めています。

5月6日までの緊急事態宣言ですが、龍ヶ崎市もそれに準じて警戒を強め、市民の皆様と力を合わせ、新型コロナウイルスとの戦いを勝ち抜いていかななくてはなりません。

0歳児から小学生も含め、子どもたちの感染例が続々と報告され、海外では10代の感染者の死亡例も報告されています。子どもたちの安全確保と感染拡大防止の観点から、保育に関する自粛要請や、小中学校の休業期間の延長も含めて検討をまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、現在要請中の週末の外出自粛と、平日夜間の外出自粛を徹底していただくとともに、市でも、公共施設等の休館・一部休館期間などについて検討をまいりますので、まずは大人から子どもたちに模範を示してまいりましょう。

前回のメッセージの通り、最も恐れられているのが、感染拡大による「医療崩壊」です。感染者の命だけでなく、その他の疾患で、平素であれば救える命が救えなくなるような事態に陥ることだけは阻止しなければなりません。

新型コロナウイルスは、目に見えない手ごわい敵です。ひとりの命を救うために、私たち一人一人の力が今、問われています。

繰り返しのお願いですが、私たち一人一人が感染拡大を阻止するという意識を強め、定期的な手洗いや、咳エチケットなどの予防対策を徹底し、日ごろの行動パターンを犠牲にしても、クラスターリスクの高い「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」、いわゆる3つの「密」を避けることを守ってください。

もう一つ、「人の移動をできるだけ最小限に抑制する」ことも重要です。学校の休業やテレワークなどにより、帰省などご家族の移動が容易になる場面が想定されますが、お互いの移動をできるだけ避けるよう、ご家族間で連絡を取り合ってくださいこともお願い申し上げます。

龍ヶ崎市民が力を合わせれば、この戦いに必ず勝ち抜くことができると信じて、市民一丸となって感染拡大防止に全力を尽くしてまいりましょう。

担当課

龍ヶ崎市 健康づくり推進部 健康増進課 成人保健グループ
担当者：岡澤・佐藤(おかざわ・さとう)
連絡先：0297-64-1039(直通)